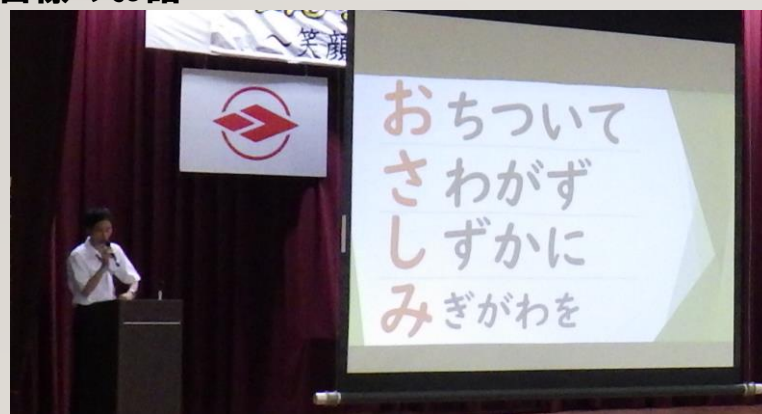
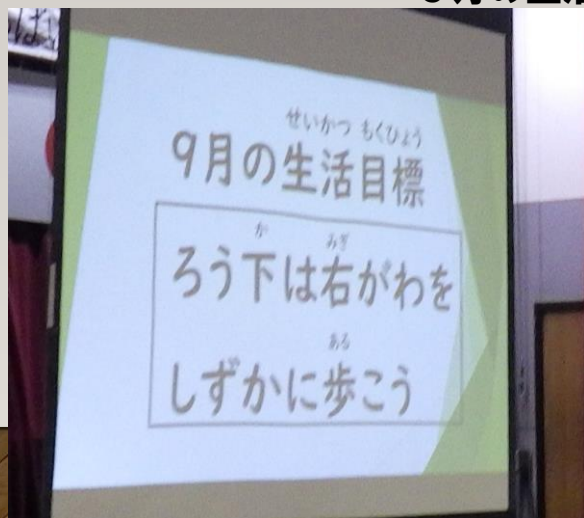


R7.9月 2学期始業式

令和7年9月1日（月）、いよいよ2学期がスタートしました。PTAや地域の方々のご協力もいただき、朝の挨拶運動の時から、元気なさわやかな挨拶ができていた上尾小の子供たち。新しいお友達も迎え、新たな気持ちでがんばっていきましょう。



9月の生活目標のお話



校長先生からは、スイミーのお話をもとに、「周りの人を理解すること」「個性を受け入れること」の大切さを学び、他者を理解することは難しいけれど、まずは認めることを意識して尊重し合っていきましょう、という話をしました。皆で意識していけば、**楽しい学校生活**となるはずです。

新しいお友達の紹介



キーワードは「お・さ・し・み」

「スイミーのお話から学べること」 （式辞抜粋）

- このお話から、学べるがたくさんあります。
- 一つは、「協力することの大切さ」 スイミーは、他の魚たちと協力して、大きな魚を追い払うことに成功します。これは、一人ではできないことも、みんなで力を合わせれば達成できることを教えてくれます。
- 二つ目は、「困難を乗り越える勇気」 スイミーは、仲間を失い、孤独な状況に直面しますが、諦めずに新しい仲間を探し、困難に立ち向かいます。このことから、どんな困難にも立ち向かう勇気を持つことの大切さを学びます。
- 三つ目は、「希望を捨てないこと」 スイミーは、絶望的な状況に置かれても、希望を捨てずに、前向きに行動します。これは、どんな状況でも希望を捨てずに、前向きに行動することの大切さを教えてくれます。
- 四つ目は、「周りの人を理解すること」 スイミーは、他の魚たちのことを理解し、彼らが何を求めているのかを考えます。これは、周りの人のことを理解し、尊重することの大切さを教えてくれます。
- 五つ目は、「個性を受け入れること」 スイミーは、他の魚たちと色が違うという個性を持っています。しかし、その個性を活かして、みんなのために役立つことをします。これは、自分自身の個性を受け入れ、それを活かすことの大切さを教えてくれます。

- さて、より良い2学期にするために、「友達とのより良い関係づくり」に話を戻しましょう。
- クラスの中を見回してみてください。絵を描くのが得意な子、計算が速い子、走るのが得意な子、みんなを笑顔にできる優しい子。一人ひとり、得意なことや苦手なこと、性格も、みんなそれぞれ違った個性を持っています。
- スイミーが新しい仲間たちと出会い、その様々な色や形、特性（とくせい）を活かして、大きな魚から身を守ったように、~~私たちが友達の個性や違いを認め合い、大切にすることがすごく重要なんです。~~
- なぜなら、人はみんな違うからこそ、一人ではできないことも、力を合わせることで大きな力になるからです。相手の気持ちを想像したり、自分とは違う考えを受け止めたりすることは、正直、とても難しいことです。意見がぶつかったり、どうしたらいいか分からなくなったりすることもあるでしょう。
- 相手を理解する、ことはとても難しいことです。でも、相手を認めることは、できるはず。そして、相手を認めて、みんなでより良いものにしていく力」は、皆さんがこれからの人生で、どんな場所へ行っても絶対に必要になる、大切な力です。
- 学校生活はもちろん、将来、社会に出て仕事をする時も、たくさんの人と協力しながら生きていくことになります。
- その時に、相手の立場になって考え、話し合いながら調整していく力がなければ、なかなかうまくいきません。
- だからこそ、この学校生活の中で、友達との関わりを通して、この難しいけれど大切な力をぜひ身につけてほしいと思います。
- お互いを尊重し合う気持ちがあれば、みんながもっと楽しく、安心して学校生活を送ることができるはずです。